

## 平成27年度 あきたスマートカレッジ (報告)

### A : 事件で見る秋田の歴史

会場：秋田県生涯学習センター3階 講堂

【趣旨】元慶の乱から明治四大事件まで、古代から近代に至る日本史上の事件に関連して、「その時」の秋田の歴史をたどる講座です。

回	期 日	テーマ	講 師	参加者数
1	10月3日 (土)	先史時代から元慶の乱まで	元秋田県立博物館長 富樫泰時氏	82
2	8月29日 (土)	「前九年・後三年合戦」と秋田	秋田大学名誉教授 熊田亮介氏	126
3	6月13日 (土)	「大河兼任の乱」と秋田	前弘前大学教育学部教授 齊藤利男氏	120
4	6月27日 (土)	「南北朝の動乱」と秋田 ～鎌倉末期から南北朝の安藤氏を中心に～	秋田県公文書館 主任学芸主事 鈴木 満 氏	96
5	7月11日 (土)	「関ヶ原の戦い」と秋田	湯沢市立稲川中学校 教諭 佐藤一幸氏	113
6	7月25日 (土)	「平賀源内の秋田来藩」と秋田蘭画	県観光スポーツ部文化振興課 副主幹 山本丈志氏	80
7	8月8日 (土)	「ペリー来航」と秋田	秋田県立博物館 学芸主事 畑中康博氏	95
8	8月22日 (土)	「秋田藩四大事件」と秋田	能代市史編集室 編集委員長 菊池保男氏	107
合計				819名

当初時代順に開催予定でしたが、諸般の事情により5月開催予定の2回分の開催期日が変更になりました。秋田の歴史を一通り辿ることで、新たな学びがありました。ここでは4回目の講座について報告します。



「戦国時代に入ると各地の大名は正統性を示そうと記録を残し始めるが、戦国期以前の秋田を語ろうとすると、当時の秋田在住の国人に関する史料が秋田の寺社などに残っているかということ、残っていない。」というところから講座は始まりました。安藤氏の家系を調べようとしても、「各地に散らばる数少ない関連資料を読みこなして、そこから個人を推定していくしかない」のが実情。特に、『正中二年九月十一日安藤宗季讓状』という史料はすべてひらがなで、この時代の文書には句読点がなく、「どこを区切りとして読むかで、地域を譲っているのか、役職を譲っているのかという点で、解釈が変わらざるを得ない」のは驚きでした。パズルのように様々な史料を組み合わせることで全体像を俯瞰するしかないということがよく分かりました。